

根来山げんきの森倶楽部

令和7年10月作業日誌

活動日：令和7年10月19日(日) 9時分30〳

天気：晴れ

倶楽部員：47人

巣箱外し 神浪 佐知子

11月に新しい巣箱をかけるため、既設の巣箱を外す作業です。メンバーは午前6名、午後4名。リストを見ながら巣箱を探し、紐でかけたものは柄の長い鋸刃や竿のような道具を使って外していきます。残念ながら空のものも多数ありますが、33個外したうちの12個にはヤマガラやシジュウカラが巣立った形跡がありました。ヤマガラの巣は苔を多用した緑っぽいタイプ、シジュウカラの巣はモフモフの化繊？などを多用した白っぽいタイプのようです。途中、鋸刃を谷に落としてしまい、皆で知恵を寄せ合って拾い上げるというアクシデントもありましたがたくさんの巣が見れて満足でした。



ロゴソール作業

赤阪 進

先月に続いて丸太からの製材です。H親方以下男性6名、女性2名で取り掛かりました。ヒノキの丸太は道普請グループが除伐したものの内太い部分を横取りしました。先月は1本引いただけでしたので、土場に残っていたもう一本から始めました。森の図書館に使う本箱用に薄いのを引いた時点で昼食にいい時間になりました。この間、土場周辺の草刈りもあり丁度良い作業量でした。

昼休みの間に、Kさん運転の林内作業車で残っていた太い丸太を森の広場から運んでもらい、午後の作業を開始しました。次は汎用の50mm厚と65mm厚の板を引きにかかりましたが、丸太のある処になるとチェーンソーがどうしても前に進みません。節が飛び出しているのではない、ロゴソールのレールが歪んでいるのではない、色々試しましたが動きません。ついには丸太に魔物が住んでいるのではないかと説まれましたが、短くしてなんとか切り終えました。後日、全体を一度解体して組み立て直してみようという事になりました。



先月草取りをし、とてもきれいになっていた溝川がイノシシの楽園になり、見るも無残な状態になっていました。

側面の木や石が川の中に落ち散らばっていました。

まず、これを上にあげて側面修理のための杭打ちから始めました。杭打ちはしんどいので交代しながら長続きするように交代で作業しました。

杭を打ち、横木と石を入れ、順次整備していきましたが、今日もらった杭と以前から準備してあった杭 20 数本を全部打っても杭が足りなかったのもので、残りの部分は来月以降の作業になります。

いずれにしても、イノシシの来園は固くお断りしたいものです。

暑い日が続くので草はずいぶん大きくなります。4 人で草を刈りましたが大変きれいになりました。

午後は先月に続いて今までに伐採した木の小枝の処理を行いました。

最後にウルシ谷入り口のパーキングスペースの入り口の溝蓋が傷んでいたものであらかじめ用意していたものと取り替えました。

以上で 10 人の男女での活動を終了しました。



やっと秋の涼しさとなった 10 月の作業日、イガグリの山を横目にロゴソールのチェーンソーの音を下に聞きながら、絶好の作業日和となりました。

今回、炭の一番の納入先である萩原珈琲さんから、社長を含む3人のお手伝いがあり、計14名と多くの参加がありました。その事もあって炭出しと、切断、袋つめは11時ごろに終わってしまいました。

出来高は 240kg でまあまあの出来と思います。午前中には炭材を半分くらい窯入れ出来、午後から残りの作業を完了し終えたのは2時前でした。今日は参加者も多く作業に余裕があり、萩原珈琲さんも交えて楽しく交流出来ました。

ボランティア活動の魅力が此处には豊富にあります。



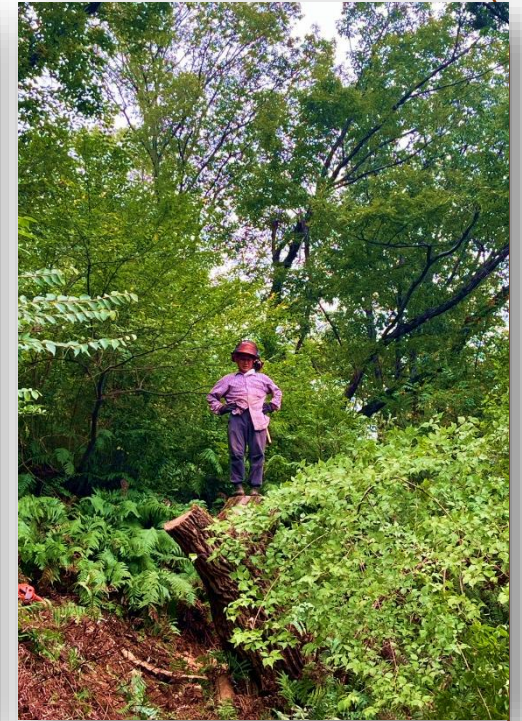
バリアフリートレイルのすぐ上にあるコナラの大木が枯れかけていて危険とのことなので伐倒しました。上方に向けて根元から切り倒したかったのですが、大きな枝が下方に広がっていてそのままでは倒れそうにないので、先にその枝を切ることに。しかし切って落としてしまうと下にある柵を壊してしまうので、切った枝が落ちないようにロープで吊ってから切りました。

果たして柵への直撃は免れたのですが下ろした枝が向かいのヤマモモに掛かってしまったので、引き出しながら少しずつ切って、なんとか無事に片づきました。

続いて本体の木の伐倒。できるだけ高いところに滑車を取ってロープを掛けて、ウィンチで引っ張りながら上方へ伐倒。重心がだいぶ傾いていたので狙い通りとはいきませんでした、どうにか何もないところに倒れてくれました。

倒したあとはできるだけ小さく切って道まで転がし落とし、林内作業車に積んで運び出しました。

太い木だったので短く切ってもかなりの重さがあり、運んで積み込むのに苦労しましたが、無事に片付いてホッとしました。



事務局から

「希少種」

先月の観察会でカリガネソウとタニジャコウソウの花を見てきました。それぞれ大谷新池に流れ込む二つの谷川沿いで見られます。カリガネソウはシカが食べない植物で紀南地域ではあちこちで見られるようになってきていますが、紀北地域ではげんきの森の他では見られないそうです。ヒノキ谷への入り口付近に数株見られ、生育地付近のスギが少し伐採されて光が入ってきているので高さ1mを超える立派な株に育っていました。周りの草を少し刈ってやると増えていきそうな感じです。

タニジャコウソウは県のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類にランクされている希少種です。ススキ尾根への入り口に10株ほどまとまって生えていますが、周りのスギが大きくなり暗くなっているものでいずれも貧弱な個体です。タネは実りそうな感じなので、周辺の少し明るい場所にタネを蒔いてみると立派な株に育つかもかもしれません。

来園者のみなさんが気持ちよく公園を利用できるように草を刈ったり鬱蒼としてきた木を取り除いたりといった作業も大切ですが、こうした希少種の保護についても気を配ることは大切です。

どなたか興味のある方がいらっしゃいましたらお声がけください。一緒にやりましょう。 (岡田和久)

